子どもの「知的好奇心」を引き出す学習展開について

【実践内容】

- 「いろいろなくちばし」・・・絵本作り
 - ・ 教科書の3つのくちばしの説明が、問いと答えという形式になっていることを知る。
(きつつき、おうむ、はちどり)
 - ・ くちばしの働きと餌について、理解する。
 - ・ 5種類の鳥の中から、教科書の続きを作る。
- 「じどう車くらべ」・・・自動車図鑑作り
 - ・ 教科書の3つの車の仕事と造りについて、読み取る。
(バスと乗用車、トラック、クレーン車)
 - ・ 好きな自動車を選び、仕事と造りの図鑑を作る。
- 「日づけとよう日」・・・歌作り
 - ・ 日付の言い方を理解し、オリジナルの日付歌を作る。
 - ・ 曜日の言い方を理解し、オリジナルの曜日歌を作る。
- 「あつまれ、ふゆのことば」・・・かるた作り
 - ・ 冬に関する言葉を集める。
 - ・ かるた（読み札、絵札）を作り、遊ぶ。

◆子どもの「知的好奇心」を引き出すにあたって

「書くことに重点をおく」ということを教師が意識して、各単元に位置づけ取り組んできた。教科書の本文から書き方の形式を学んだ後、題材を選択し、自己決定することが、知的好奇心を引き出すものと考えた。そして、オリジナルの絵本や図鑑を作成することで子ども達の意欲を継続できるものと考えた。

◆子どもの様子（反省）

子ども達は、“いろいろなくちばし”に掲載されている5種類の鳥（カワセミ、クマタカ、ダイシャクシギ、ベニヘラサギ、スズメ）の中から好きな鳥を選択し、教科書の続きを書いた。くちばしの特徴を知らせ、問題を投げかける。そして、答えを書き、くちばしの働きと餌についてまとめるという5つの鳥の絵本を完成させた。教科書で繰り返し出てくる形式を学んだ後なので、子ども達はとまどうことなく書き進めることができた。

“じどう車くらべ”でも同様に、3つの車の仕事と造りを学んだ後に、自分の好きな車を選択し図鑑作りへと意欲的に学習を進め、車について知っていることや調べたことを書くことの嬉しさを感じながら取り組んだ。完成した絵本や図鑑を友だちと交換して読み合い、感想を伝える楽しさも味わっていた。

自分の誕生日や家族の行事を日付歌に入れ、楽しみながら歌作りができていくことから、徐々に書く力が身に付いてきたことも感じている。題材決定から始まる日記を夏休み以降、週に2～3回継続し、家族の声かけもあり長い文章が書けるようになった子が多い。今後も、国語科の各単元に「書くこと」を位置づけ、時間数を確保しながら自分の思いを表現できるように継続指導していきたい。